

ファーストペンギン通信

第30号
発行日
令和3年12月25日(土)
発行人
八王子実践中学校
中学部長 石川敦史

滝山城を知ろう

令和3年12月15日(水) 3限、翌日の滝山城跡探究に先立って、矢野東校長先生の講義を受けました。



中世の城について

皆さんは、山城（やまじろ）、平山城（ひらやまじろ）、平城（ひらじろ）の違いはご存知でしょうか。

①山城 敵が攻め込んできたときに立てこもって応戦するための山頂あるいは山腹に

ある城。平時はふもとで政務を行う。

②平山城 丘の上または中腹にあり、平時もそこで政務を行う。

③平城 平地にあり、当然政務もそこで行う。城下町が築かれ、経済の中心地となる。

滝山城は「平山城」です。

次に、築城の手順を紹介しましょう。

1. 場所を選ぶ。
＝地選（ちせん）
2. 範囲・規模を決める。
＝地取（ちどり）
3. 曲輪、堀を配置する。
＝縄張（なわばり）
4. 土木工事をする。
＝普請（ふしん）
5. 建造物の建造をする。
＝作事（さくじ）

現代でも「縄張」「普請」などの言葉は残っています。

冬のJ-Trial特集 滝山城築城500年のこの年に



滝山城について

1521年多摩川の河岸段丘を利用して、大石定重（おおいしさだじげ）が築きました。子供の定久（さだひさ）という説もあります。

のちに、1567年北条氏照（ほうじょううじてる）が大石定久の婿養子になり、改修をしました。越後の上杉氏に対する備えを固めるためと言われています。

滝山城の見どころ

自分が城攻めの大将になった

つもりで見学をするとよいでしょう。

参考資料：城攻めの4つの方法

- ①力攻め（強襲） 籠城兵力の3倍の兵力が必要。犠牲大。
- ②奇襲（きしゅう） 敵の弱点・油断をつく。
- ③調略（ちょうりやく） 敵を寝返らせ、内部から切り崩す。
- ④兵糧（ひょうろう）攻め 食料補給と情報が城に入るのを防ぐ。時間がかかる。

重要ポイント

- ① 堀の形
毛拔堀 薬研堀 箱堀
- ② 馬出（うまだし）
- ③ 虎口（こぐち）

しっかり、見てきてください。

それから、1569年に武田信玄がこの地に攻め込み城下に火をかけたけれども、この滝山城は落とせなかったと伝えられています。このことがこの滝山城の堅固さを世に知らしめたのです。

では、なぜ北条氏照は1587年頃、拠点を滝山城から八王子城に移したのでしょうか。これが、皆さんへの宿題です。各自で調べてみましょう。

このように、校長先生は講義を締めくくられました。

生徒の感想

明日校長先生に言われたことを思い出しながら歩いてみようと思いました。今日学んだことを思い出しながら歩くのと事前学習をせずに歩くのでは全然違うと思います。

また、滝山城から八王子城に移った理由も自分で調べて理解することができました。なので滝山城について深く考えて勉強することができてよかったです。